

1 目標		
<p>・観音寺市の耐震改修促進計画に定めた【住宅の耐震化率 95%】の達成に向け、住宅の耐震化を加速させるため、これまでの取組みに加え、よりのめを絞った効果的な施策を複合的かつ積極的にすすめていく必要がある。</p> <p>・そこで、本市では、行政・改修事業者・地域と連携を一層図りながら、【市民が気軽に耐震改修を実施できる体制づくり】【「住宅の耐震化」の重要性を認識してもらうためのきっかけづくり】【耐震診断をした住宅を耐震改修工事に確実につなげるための仕組みづくり】を住宅の耐震化を強力に推進するための3本の柱として位置付ける。</p> <p>・この3本の柱を確立していくための取組みを、住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）において位置付け、毎年度、進捗状況を把握・評価するとともに、アクションプログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。</p>		
2 位置づけ		
<p>・アクションプログラムは、観音寺市耐震改修促進計画に位置付けるものとし、耐震化率の目標達成のために具体的に実施する取組み内容や取組み実施状況及び効果の検証を行い、毎年度見直しを行い公表するために策定している。</p>		
3 取組内容・目標・実績		
計画	令和6年度の取組内容	令和6年度目標
	<p>① 【市民が気軽に耐震改修を実施できる体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅所有者の個別のニーズや疑問にこたえる機会</li> <li>・より安価な耐震改修工事「低コスト工法」の普及啓発</li> <li>・観音寺市耐震対策ガイドブックを広く活用し、制度周知に務める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅の耐震診断戸数 20 戸</li> <li>・木造住宅の耐震改修戸数 10 戸</li> </ul>
	<p>② 【「住宅の耐震化」の重要性を認識してもらうためのきっかけづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減災対策の一環として住宅の耐震化をとらえる</li> <li>・在宅避難の重要性や具体的な取組み手法の情報発信</li> <li>・地区防災訓練等を通じ、地域に密着した耐震化の取組みへの第一歩となる、きっかけにつながる普及啓発の取組み</li> </ul>	<p>前年度までの実績</p> <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅の耐震診断戸数 9 戸</li> <li>・木造住宅の耐震改修戸数 9 戸</li> </ul> <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅の耐震診断戸数 20 戸</li> <li>・木造住宅の耐震改修戸数 9 戸</li> </ul>
	<p>③ 【耐震診断をした住宅を耐震改修工事に確実につなげるための仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断結果報告時に耐震改修工事の重要性や「低コスト工法」の事例紹介やメリット等について説明を行う</li> <li>・自治会単位の戸別訪問を実施し、特に高齢者世帯への耐震対策のメリットについて対話での周知に務める</li> </ul>	<p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅の耐震診断戸数 24 戸</li> <li>・木造住宅の耐震改修戸数 9 戸</li> </ul> <p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅の耐震診断戸数 7 戸</li> <li>・木造住宅の耐震改修戸数 4 戸</li> </ul>
自己評価	前年度(令和5年度)の取組実績	前年度(令和5年度)の評価と課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌や市公式LINE等を活用し、耐震無料相談会の開催案内を掲載した。</li> <li>・市内の建築士による耐震無料相談会を2回開催した。</li> <li>・自治会総会の配布資料に補助制度のチラシ及び耐震無料相談会の開催案内を同封し、自治会内回覧を実施した。</li> <li>・観音寺市耐震対策ガイドブックの制作を依頼した。</li> </ul>	<p>住宅の所有者が地震に対する危機感を持ち、耐震対策の重要性についての強い意識付けが喫緊の課題。</p>
		<p>改善策</p> <p>耐震化を図るメリットについて、戸別訪問による対話での地道な情報提供に努める。</p>